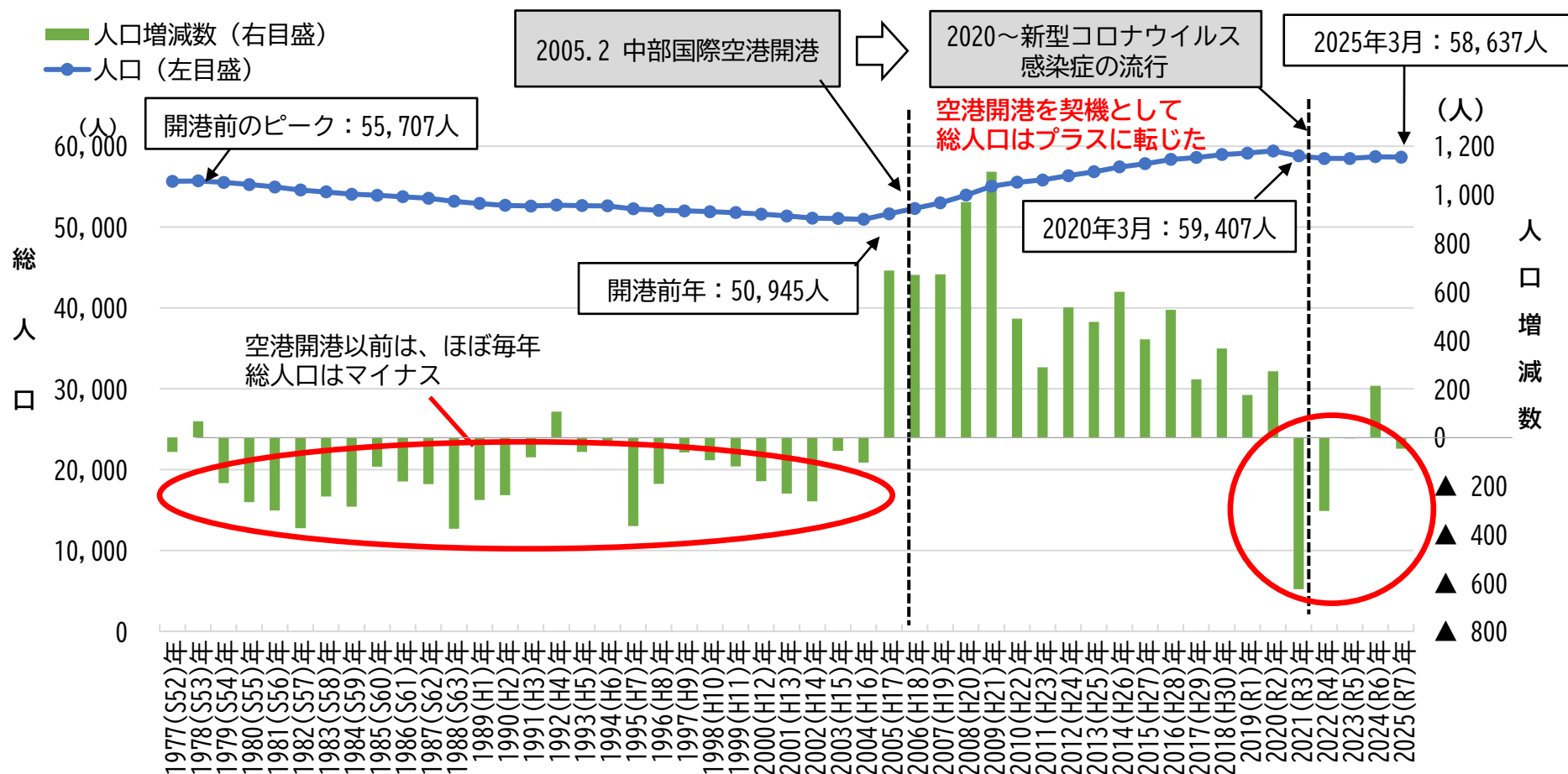


常滑市の人口推移について

資料3

1 空港開港後の人口推移

- 昭和53(1978)年をピークに減少を続けてきたが、空港開港を契機に毎年増加してきた
- 令和2(2020)年3月末時点の人口は、過去最高の59,407人
- 総合計画では、令和10(2028)年度の将来人口を6万人と推計

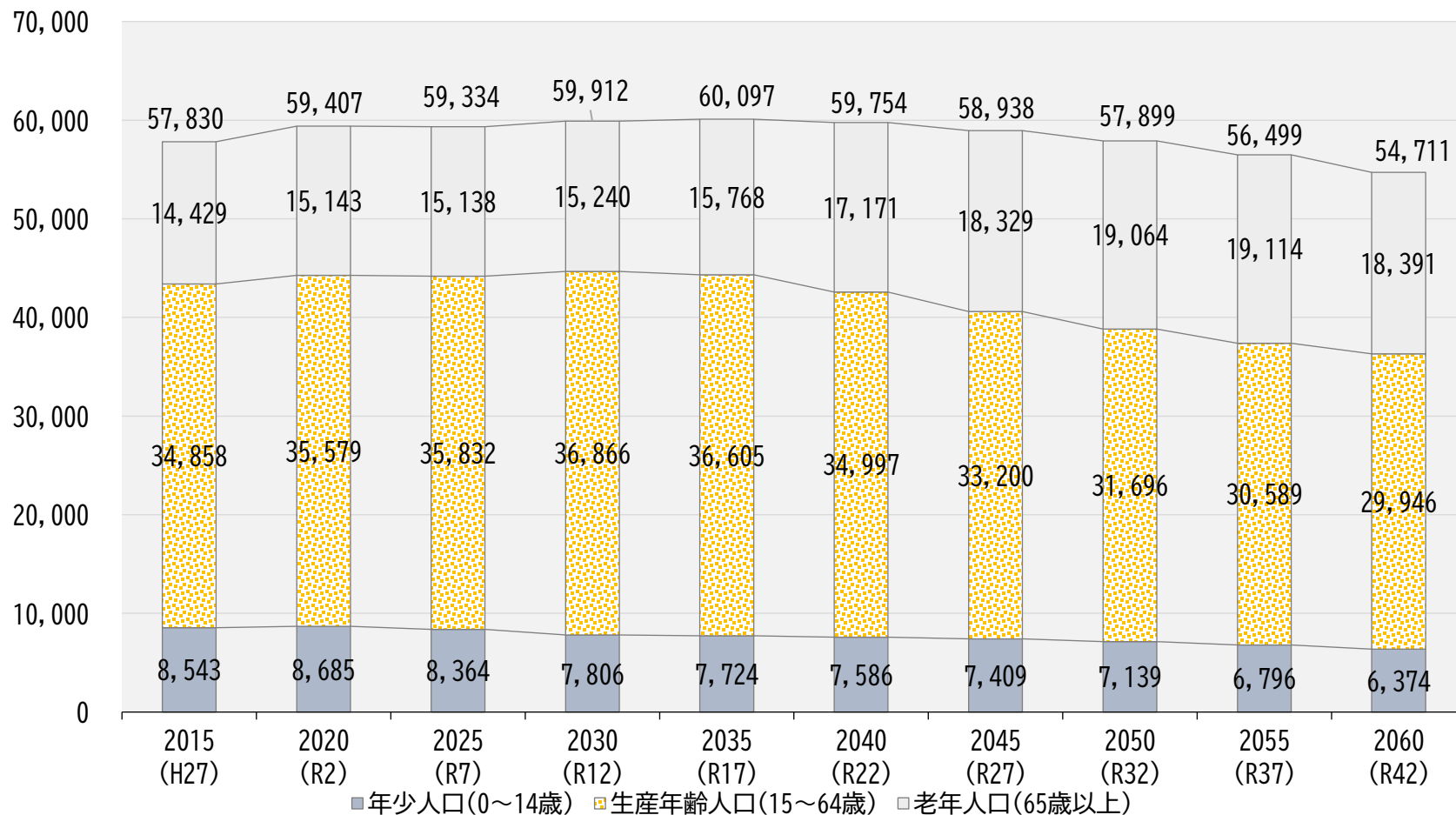


※住民基本台帳より作成（各年3月31日現在）

2 将来人口推計

(1)市全体の推計

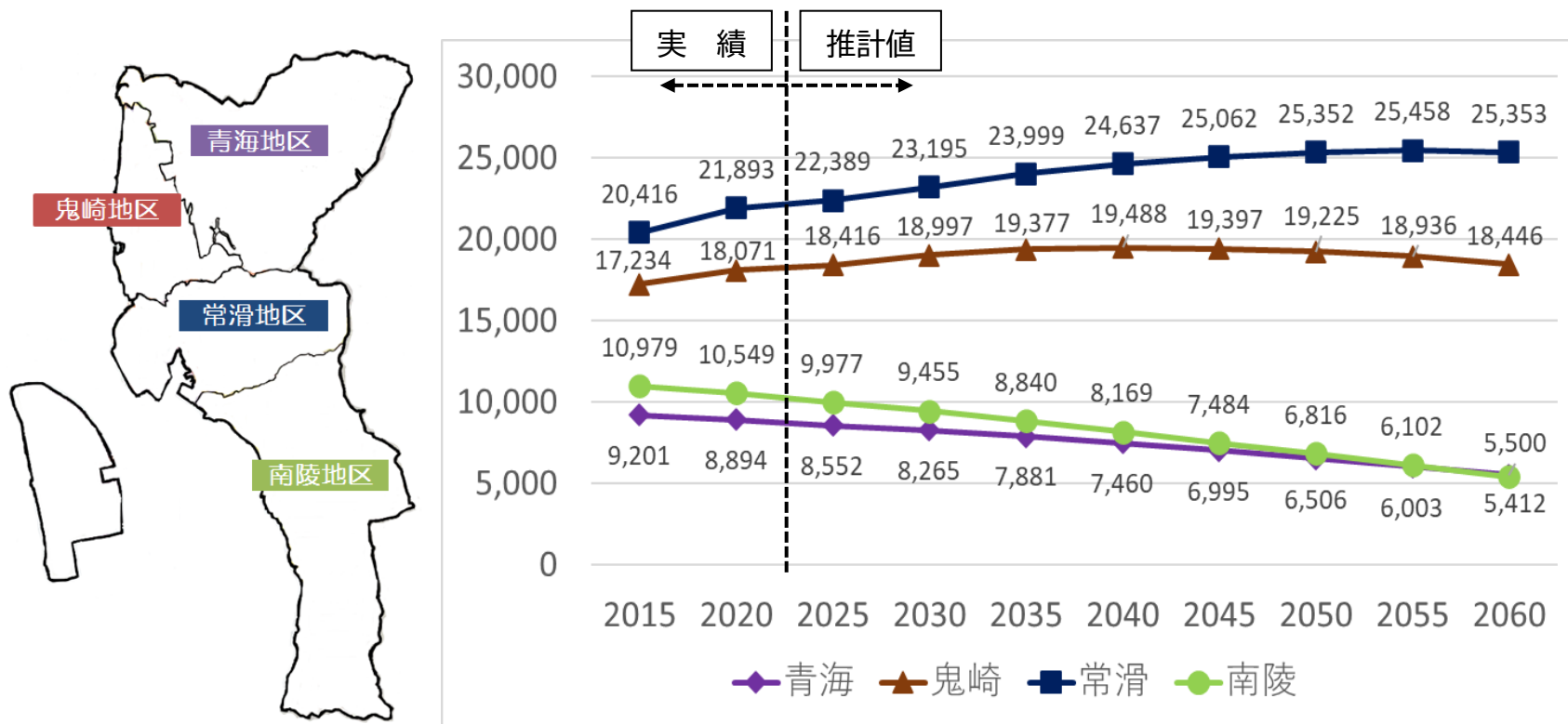
- 2035(令和17)年頃までは緩やかな増加が続く見込み
- 2040(令和22)年には人口減少に転じる。
- その後、総人口の減少は加速し、2060(令和42)年には54,711人になる見込みである。



※第6次常滑市総合計画より抜粋

(2)地区別推計の比較

- 地区別に見ると、将来の人口推計に差がみられる。
- 鬼崎地区・常滑地区は、人口増加・横ばい傾向と推測される。
- 青海地区・南陵地区は、直線的に減少すると推測される。

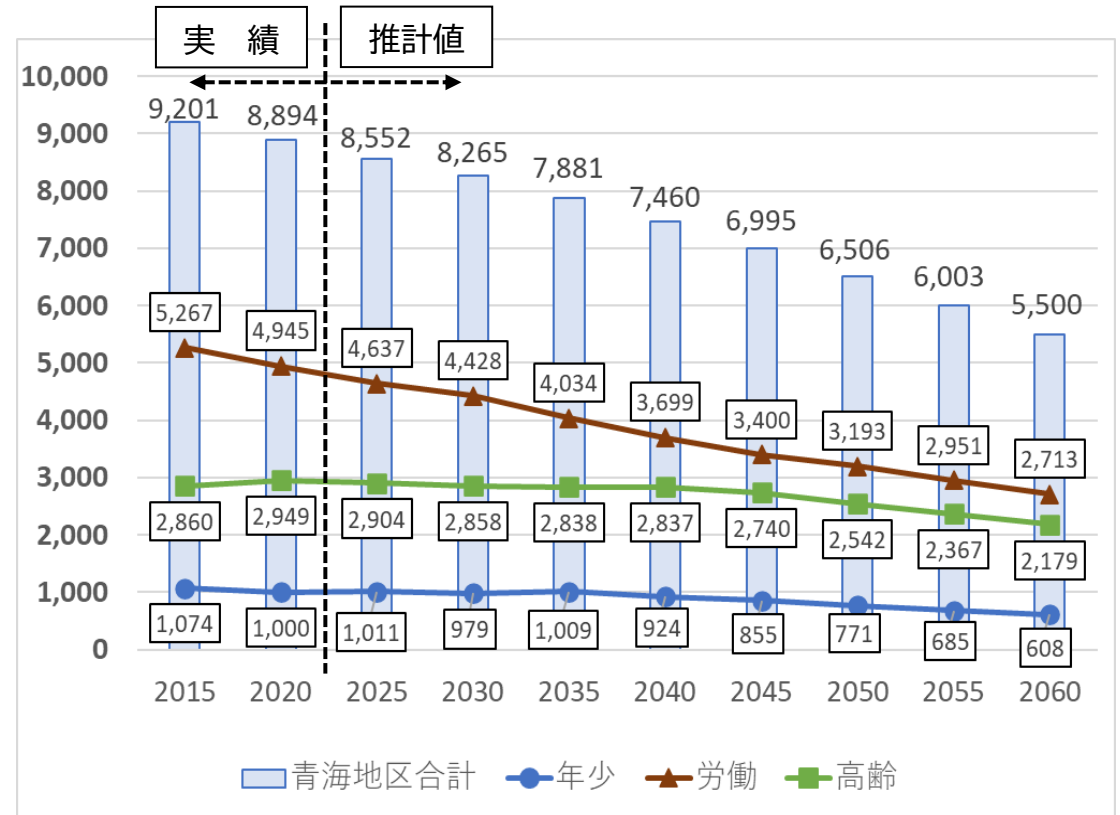


※常滑市公共施設アクションプランより抜粋

①青海地区



用途地域



- 地区面積は4地区中最大だが、地区面積に占める市街化区域の割合は4地区で最小。
- 大野町、金山字屋敷及び青海町に一定の人口集積がみられるがその他は農地としての土地利用が大半。
- 将来の地区人口は直線的に減少し、30年後には現在の65%まで減少すると推測される。

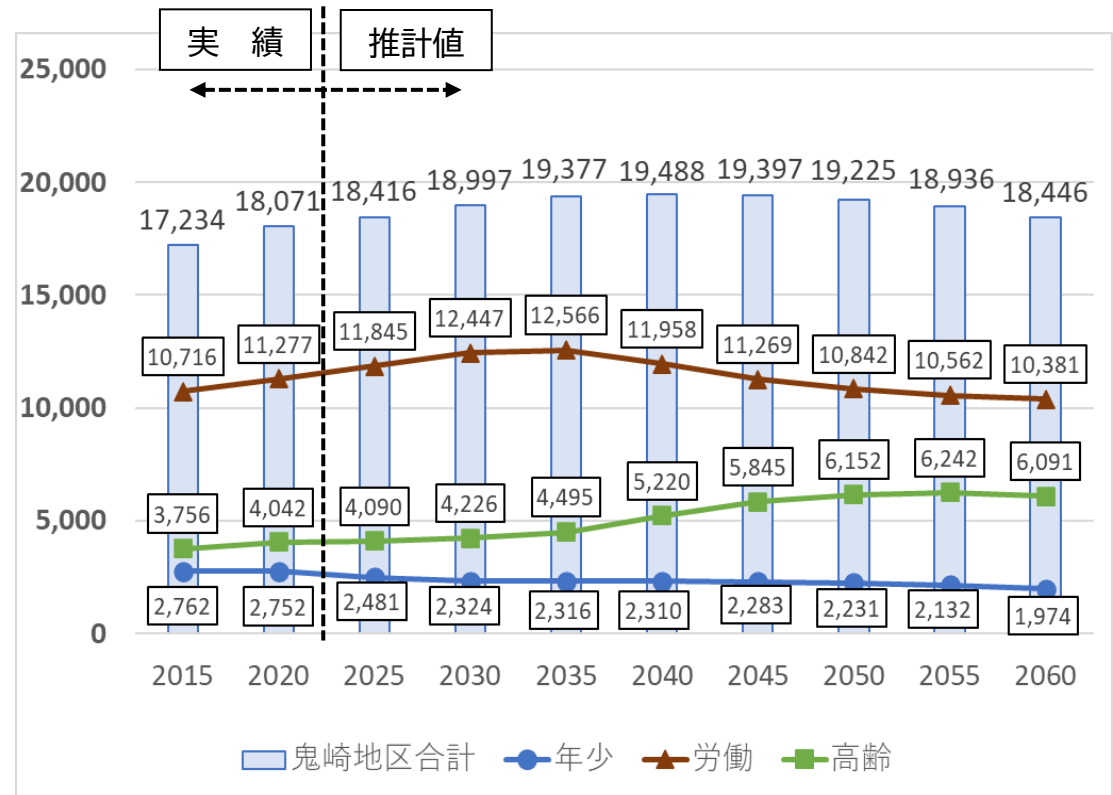
3区分人口	2015(H27) 3月末	30年後 (2055(R37))	減少率
0～14歳	1,074	685	64%
15～64歳	5,267	2,951	56%
65歳～	2,860	2,367	83%
地区人口計	9,201	6,003	65%

②鬼崎地区



用途地域

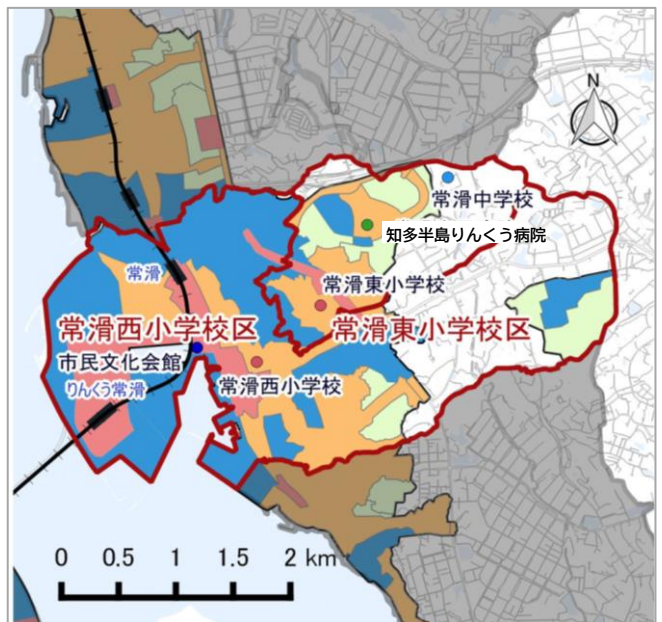
住居専用系用途地域	住居用途地域	商業系用途地域	工業系用途地域
第一種低層住居専用地域	第一種住居地域	近隣商業地域	準工業地域
第二種低層住居専用地域	第二種住居地域	商業地域	工業地域
第一種中高層住居専用地域	準住居地域		



- 国道155号以西の大半の地域が市街化区域で、その面積は地区面積の約7割。
- 名鉄4駅周辺、県道大府常滑線沿道に市街地が形成。西之口・多屋の土地区画整理事業や集合住宅による人口定着がみられる。
- **将来の地区人口は2040年にピークを迎え、労働人口の減少とともに地区人口も18,000人超まで減少すると推測される。**

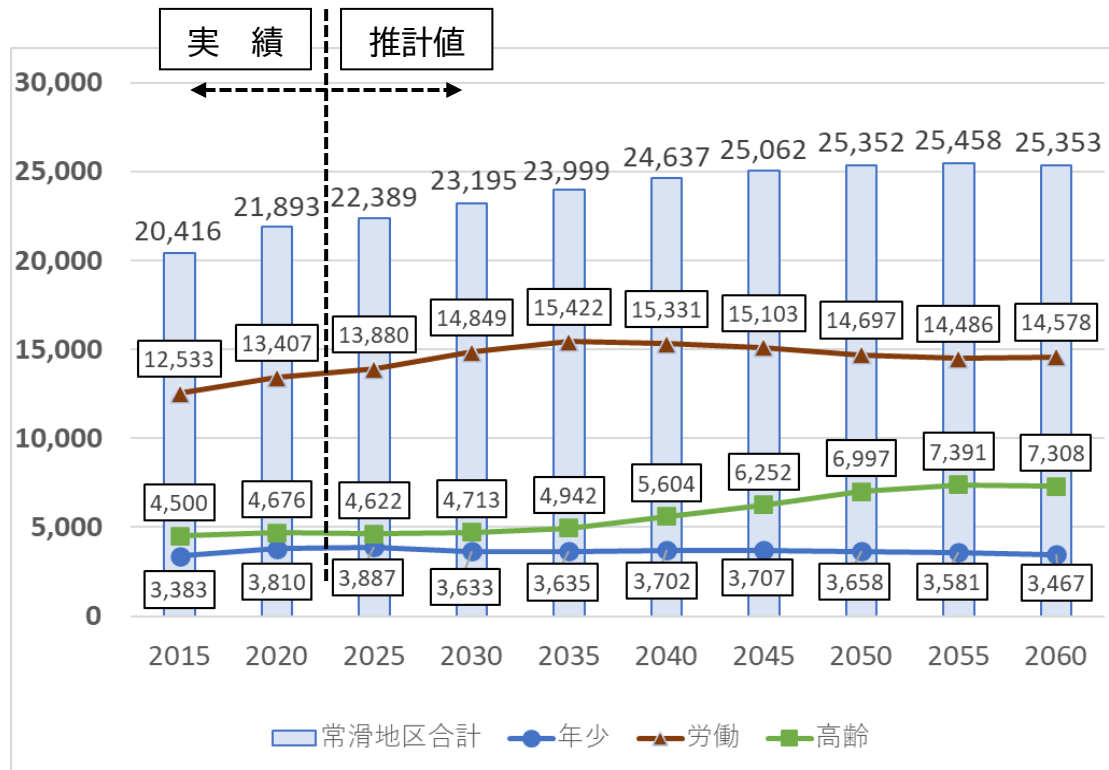
3区分人口	2015(H27) 3月末	30年後 (2055(R37))	減少率
0～14歳	2,762	2,132	77%
15～64歳	10,716	10,562	99%
65歳～	3,756	6,242	166%
地区人口計	17,234	18,936	110%

③常滑地区



用途地域

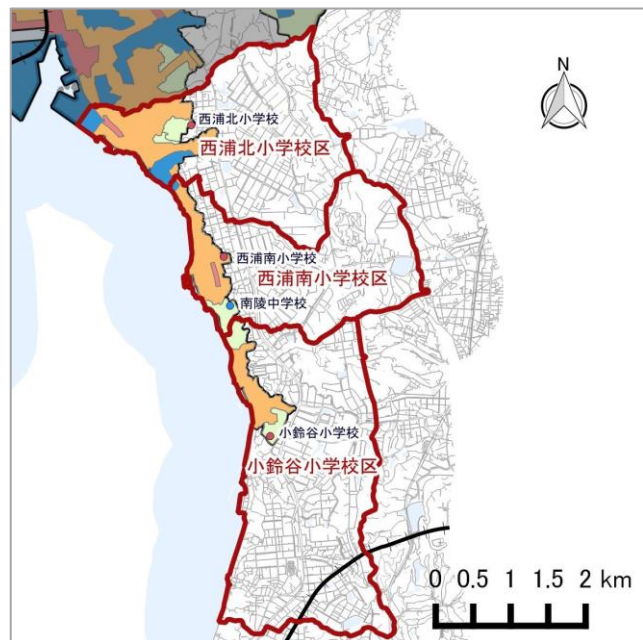
住居専用系用途地域	住居用途地域	商業系用途地域	工業系用途地域
第一種低層住居専用地域	第一種住居地域	近隣商業地域	準工業地域
第二種低層住居専用地域	第二種住居地域	商業地域	工業地域
第一種中高層住居専用地域	準住居地域		



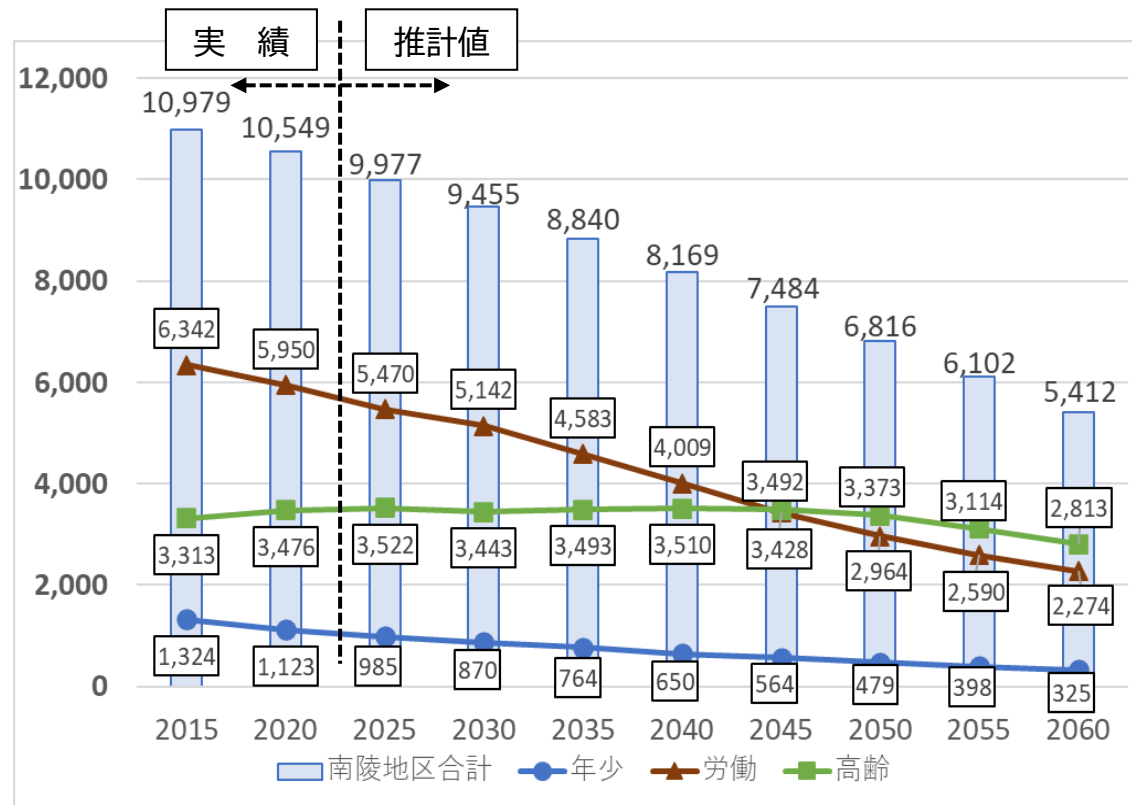
- 都市拠点地区として名鉄常滑駅、行政機関、金融機関、ホテル等が集積。
- 市の中央部に位置するため、市役所、市民文化会館、中央公民館、知多半島りんくう病院等の市全体で利用する施設がある。
- 中部国際空港の立地に伴い、名鉄空港線や中部国際空港連絡道路が整備された。
- 飛香台は、市外からの流入人口の受け皿となった。
- **将来の地区人口は、2055年にピークを迎え、25,000人超の水準を維持する**と推測される。

3区分人口	2015(H27) 3月末	30年後 (2055(R37))	減少率
0～14歳	3,383	3,581	106%
15～64歳	12,533	14,486	116%
65歳～	4,500	7,391	164%
地区人口計	20,416	25,458	125%

④南陵地区



用途地域



- 南北約8kmの長さがあり、地区面積は青海地区に匹敵。
- 小鈴谷小学校より北の伊勢湾岸沿いに、地区面積の12%程度の市街化区域が設定。
- 土地・建物利用は住居系利用が中心で、東部は農地・丘陵地。
- 公共交通はバスのみ。
- 伊勢湾を望む眺望や自然海岸、鈴溪義塾等、地区固有の資源が存在。
- **将来の地区人口は直線的に減少し、30年後には2015年度比で56%まで減少すると推測される。**

3区分人口	2015(H27) 3月末	30年後 (2055(R37))	減少率
0～14歳	1,324	398	30%
15～64歳	6,342	2,590	41%
65歳～	3,313	3,114	94%
地区人口計	10,979	6,102	56%